



GUTAI X INTERNATIONAL

具体、海を渡る。

芦屋市立美術博物館 2014.7.5 Sat. - 9.7 Sun.

会 期 平成 26(2014)年 7 月 5 日(土) - 9 月 7 日(日)

開館時間 午前 10 時 - 午後 5 時(入館は閉館の 30 分前まで)

会 場 芦屋市立美術博物館 第 1、2 展示室、ホール

休 館 日 月曜日(ただし祝日の場合は翌火曜日休館)

観 覧 料 一般 500(400)円、大高生 300(240)円、中学生以下無料

括弧内は団体料金。高齢者及び身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳所有の方、ならびにその介護の方は各当日料金の半額。

主 催 芦屋市立美術博物館

後 援 兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK 神戸放送局、関西テレビ放送、FM802、ジュンク堂書店芦屋店

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は芦屋市立美術博物館の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当館では平成 26 年 7 月 5 日(土) – 9 月 7 日(日)まで『GUTAI X INTERNATIONAL 具体、海を渡る。』展を開催いたします。

1954 年、芦屋。吉原治良率いる具体美術協会（以下、「具体」）が結成されました。「今までにないものを創れ」という吉原の指導のもと、具体は前衛美術グループとして先鋭的な作品を次々と発表しました。

具体は結成当初から海外を視野に入れた国際性に富む活動を行ったことでも知られています。たとえば英訳のつけられた機関誌『具体』の発行、海外の画廊での展覧会の実施、1962 年大阪に開館させた具体の会員たちの作品を展示する自前の美術館（＝グタイピナコテカ）への海外作家の招聘など、具体が早くから世界を活動の舞台としてとらえていたことがわかります。

具体は、吉原治良が発揮した強烈なリーダーシップによりグループとして非常にまとまった活動を 18 年にわたって展開しましたが、その結束は決して閉鎖的な場において形成されたものではありません。国際的な交流を積極的に深めたその社交性が具体に与えた影響は多大なものであったに違いなく、その検証は新たな具体像に近づかせてくれるに違いありません。

本展は、具体のもった旺盛な国際性を切り口としてこれまでにみたことのない、新たな具体像を探ろうというものです。

つきましては、広報用写真や読者・視聴者用プレゼント招待券もご用意しておりますのでご希望の場合は別紙の FAX 用紙にてご連絡ください。ご不明点などございましたら、当館までご連絡くださいませ。ぜひご紹介いただきますようお願い申し上げます。

敬具

■ 出品内容：絵画作品を中心に約 60～70 点(予定)

■ 同時開催：「芦屋の歴史と文化財 – むかしむかしのお話 –」展（7 月 5 日(土) – 9 月 7 日(日)）

《問い合わせ先》

【企画内容に関して】 担当学芸員：國井 綾 TEL：0797-23-2666(学芸直通)

【画像貸出など広報について】 担当：総務課 TEL：0797-38-5432(代表)

芦屋市立美術博物館 〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町 12-25

ホームページ：http://ashiya-museum.jp/ ツイッター：@ashiyabihaku
QR コード



関連事業

1 パフォーマンス

出演：堀尾貞治氏(美術家・元「具体美術協会」会員)

日時：7月5日(土) 午後2時～

参加費：無料(要観覧券チケット)

2 “バック・トゥ・ザ・野外展”散策

◎1955年、56年に開かれた芦屋公園での野外展を同じ季節に追体験。

その後美術博物館でスライドレクチャー、作品解説を行います。

ナビゲーター：河崎晃一氏(甲南女子大学文学部メディア表現学科教授)

日時：7月27日(日) 午後2時～(2時間程度)

コース：阪神芦屋⇒芦屋公園⇒芦屋市立美術博物館

定員：20名

参加費：300円、要観覧券チケット

*往復はがきによる申し込み要。住所、氏名、年齢、電話番号、「“バック・トゥ・ザ・野外展”散策参加希望」明記の上、芦屋市立美術博物館(〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町 12-25)まで。

※7月10日(木)消印有効。※応募者多数の場合は抽選。

3 ワークショップ「あたりまえのこと」

講師：堀尾貞治氏(美術家・元「具体美術協会」会員)

日時：8月2日(土)、8月9日(土) 午後2時～(1時間～1時間半程度)

参加費：無料(要観覧券チケット)

4 グタイトークサーフィン

◎よみがえったグタイの話。

ゲスト：向井修二氏(美術家・元「具体美術協会」会員)

日時：8月10日(日)、午後2時～

参加費：無料(要観覧券チケット)

5 ギャラリートーク

日時：7月12日(土)、8月30日(土) 午後2時～(1時間程度)

参加費：無料(要観覧券チケット)

6 ミュージアムコンサート

日時：7月19日(土) 午前11時～

出演：林里奈、Modern Classic Ensemble

日時：9月5日(日) 午後4時～

出演：前田伊都子、Modern Classic Ensemble

広報用画像

画像について

「GUTAI×INTERNATIONAL 具体、海を渡る。」展の画像データをプレス掲載用にご用意しております。使用を希望される際は別紙、申込用紙にご記入のうえ、窓口までご連絡ください。



1



2

1 吉原治良 《作品》
1960年 当館蔵

2 吉原治良 《白と黒の円》
1968年 当館蔵



3



4

3 白髪一雄 《地煞星鎮三山》（ちさつせいちんさんざん）
1961年 当館蔵

4 嶋本昭三 《作品》
1963年頃 当館蔵



5



6

5 ミシェル・タピエと吉原治良
1958年
新しい絵画世界展会場

6 第6回具体美術展会場
1958年
MARTHA JACKSON GALLERY, NY
* (左から猪熊弦一郎夫妻、金光松美、2人
おいて吉原治良、2人おいてポール・ジェ
ンキンス)
*以降は省略可



7



8

7 『LIFE』誌（アメリカ）の取材を受ける白髪一雄
1956年
今津浜

8 公開制作を行ったジョルジュ・マチウと吉原治良
1957年
大丸百貨店屋上